

入選

伝え合う言葉

奈良県 生駒小学校 4年 川崎 愛花里

「ありがとう」というたった五文字の言葉には、人を笑顔にする力があります。とても温かくやさしい気持ちになる魔法の言葉です。

今年、私はサマーキャンプに参加しました。キャンプで初めて知り合った子もいて、緊張しました。でも、慣れてくると、同じキャンプを楽しむ仲間なので、仲良くなりました。

ある朝、アトピーがかゆいと、一人の女の子が突然泣き出しました。汗でアトピーがひどくなったらしく、真っ赤な足をしていました。みんながどうしていいのか、おろおろしていました。私は、急いで自分のタオルをぬらして、渡しました。冷やしたら、かゆみが少しはましになるかと思ったからです。泣いていた子が一瞬泣くのをやめて、

「ありがとう。」

と言って、タオルを使ってくれました。私は、ひたすらその子に早く楽になってほしかっただけでしたが、お礼を言われて、とてもうれしくなりました。私の気持ちが通じたのだと思いました。

別の日。キャンプの景品で缶バッチをもらいました。私は、白色の缶バッチでした。

「白がよかったのにな。」

と、私より年下の女の子がしょんぼりしていました。その手の中には、ピンク色の缶バッチがありました。私は、

「交換しよっか。」

と声をかけました。その子は、最初、とてもびっくりしていましたが、笑顔で「ありがとう！」と言ってくれました。私は何色でもよかったので、お礼を言ってもらって、私の方が「ありがとう」でした。

また、別の日。私は虫よけリングをもらいました。私は、持っていなかったのに、キャンプで友達になった子が、

「1個余分に持っているから、あげるよ。」

とくれました。私はすぐに、

「ありがとう。」

と言いました。そして、おそろいの虫よけリングを二人でつけました。二人とも、笑顔になりました。そのときもらった虫よけリングは、効果のなくなった今でも私の宝物です。虫よけリングをもらったことがうれしいのではありません。友達の気持ちがうれしかったのです。

ありがとうという言葉には、「あることが難しい」、「めったにない」という意味があるそうです。キャンプでのありがとうは、まさにそうでした。ありがとうは、人が思いやる気持ちを送り、その気持ちが受け取られたときに生まれます。言った方も、言われた方も、心がふんわりと温かくなります。人がやさしく思いやること、その思いやりが相手に伝わること、どれも当たり前ではない、貴重なことです。私は、これからも、「ありがとう」と気持ちを伝え合って、感謝していきたいです。